

魚類	
平成 15・16 年度 現地調査計画	目的・方法・時期・対象範囲

調査の目的

平取ダム周辺での魚類については、平成 13 年度に額平川、宿主別川、ペンケペツカンロ川及びパンケイワナイ川の各河川で湛水予定区域周辺を対象として調査を実施しました。

そこで、平成 15・16 年度調査は、これまで把握されていない湛水予定区域外での魚類生息状況を明らかにすることを目的としています。

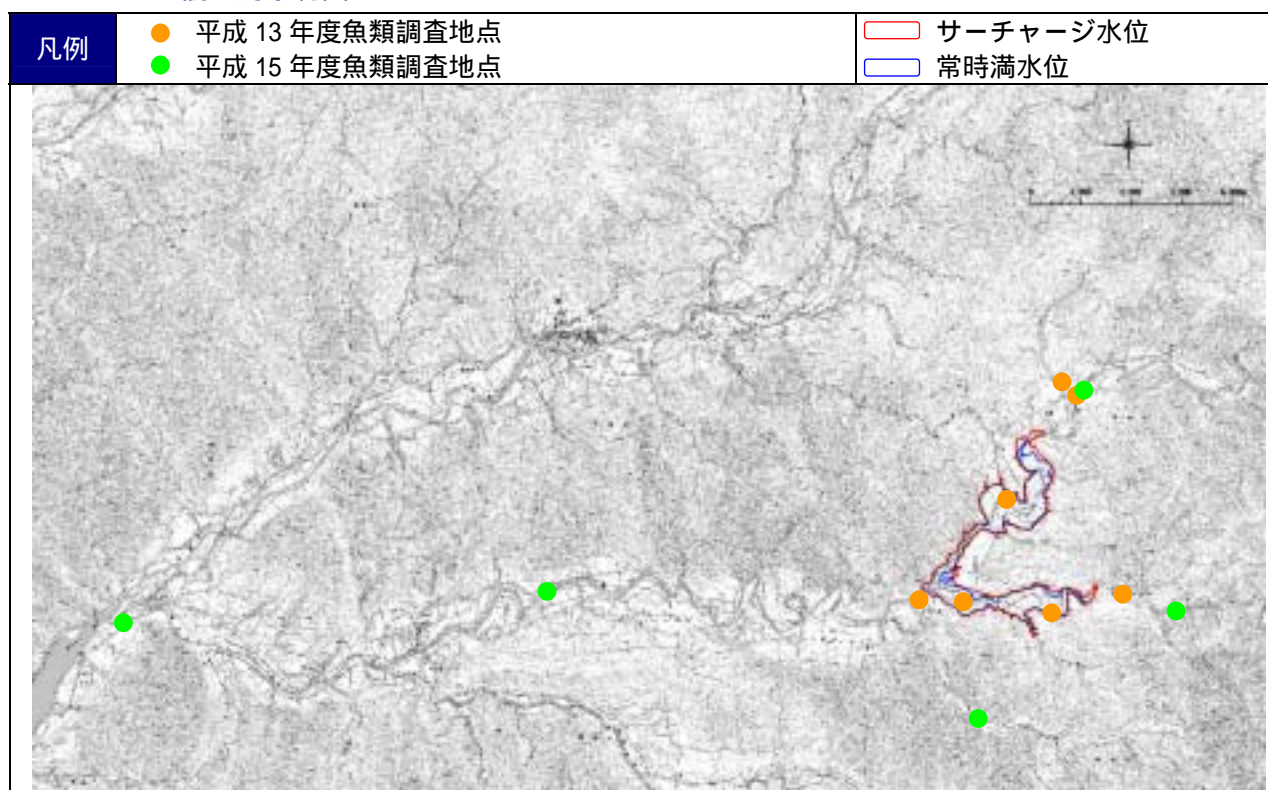
調査の項目・方法

調査項目	調査方法
捕獲調査	投網(21 節、1200 目)、たも網(径 100cm の半円形)及び電気ショッカー(出力電圧 100～1000V)を主体とした採捕並びに目視確認によって行う。 また、採捕個体の計測記録のほか、生息環境(河川形態、河床材料、瀬淵の有無、水深、水温、周辺植生等)について記録する。

調査日程・実施状況

調査時期	調査日程	実施状況
捕獲調査	平成 15 年 7 月 24 日～25 日 平成 15 年 9 月 21 日～22 日 平成 16 年 5 月下旬～6 月上旬	今年度は、 の調査が終了。
過去の調査	平成 13 年 6 月 20 日～22 日 平成 13 年 9 月 30 日～10 月 2 日	7 地点で捕獲調査を実施

調査対象範囲



2.これまでの調査について

過年度及び平成 15 年度調査結果 確認種・重要種

H13 年度、H15 年度調査 確認種

平成 13 年度調査の結果、5 科 8 種が、平成 15 年度調査の結果 6 科 9 種がそれぞれ確認されました。

科名	種名	平成 13 年度	平成 15 年度	ダム湛水 予定地下流	ダム湛水 予定地内	ダム湛水 予定地上流
ヤツメウナギ	シベリアヤツメ				-	
	ヤツメウナギ属の一種					
コイ	エゾウグイ					-
	ウグイ属の一種					-
ドジョウ	ドジョウ					-
	フクドジョウ					
サケ	アメマス					
	ニジマス					
	ヤマメ					
カジカ	ハナカジカ				-	
ハゼ	ジュズカケハゼ	-			-	-
	ハゼ科の一種	-			-	-
6 科 9 種		5 科 8 種	6 科 9 種	6 科 9 種	4 科 7 種	4 科 6 種

確認された種は「 」で示した。

特記事項

平成 13 年度及び今年度の調査で確認された着目すべき魚類として、環境省レッドデータブックで準絶滅危惧に、北海道レッドデータブックで希少種に選定されているシベリアヤツメが、また、北海道レッドデータブックで留意種に選定されているエゾウグイ、ヤマメ、ハナカジカがそれぞれ確認されました。

湛水予定区域内で行った平成 13 年度調査の確認種と、湛水予定区域外で行った今年度調査の確認種はほぼ同じであり、これらの魚類は、湛水予定区域内外において広く分布している事が確認されました。

これら魚類の確認位置とダム及び湛水予定区域との位置関係を整理すると、ダム下流では 9 種が、湛水予定区域内では 7 種が、湛水予定区域より上流では 6 種がそれぞれ確認されました。

サクラマス関連調査

平成 15 年度 現地調査計画 目的・方法・時期・調査地点

調査の目的

額平川水系におけるサクラマス幼魚の分布状況を把握する目的で実施しました。また、平成 14 年以降は、平取ダム建設地点周辺の支流域を中心にサクラマスの産卵実態の把握も行いました。

調査の項目・方法

調査項目	調査方法
サクラマス幼魚分布調査	幼魚の分布調査は、投網および電気ショッカーによる採捕。
サクラマス産卵床調査	目視による産卵床および遡上親魚の確認。

調査日程・実施状況

調査時期	実施状況
平成 15 年度調査 ・サクラマス幼魚調査 平成 15 年 6 月および 9 月 ・サクラマス産卵床調査 平成 15 年 9 月下旬	平成 15 年度調査は終了。 6 月調査は予定通り実施。 9 月調査は台風 10 号の影響により地点を限定して実施。
過去の調査 ・サクラマス幼魚調査 平成 11～14 年 毎年 6 月と 9 月に実施 ・サクラマス産卵床調査 平成 14 年 9 月下旬 10 月上旬に 計 2 回実施	平成 11～13 年：主要地点でのみ実施。 平成 14 年：調査範囲を拡大し、より詳細な調査を実施。 予定通り実施

調査地点

調査年	調査項目	調査地および地点
平成 15 年度	サクラマス幼魚調査	額平川本流～貫気別第 2 頭首工から砂防ダムまでの区間に 10 地点 宿主別川～合流点から砂防ダムまでの範囲に 3 地点 総主別川～額平川合流点から魚止めの滝下流までの範囲に 2 地点 貫気別川～額平川合流点から旭第 2 頭首工までの範囲に 5 地点 主要 4 支流 6 地点 その他～主要 7 支流、計 8 地点
	サクラマス産卵床調査範囲	パンケベッカ川、パンケベッカ川 総主別川、パンケイワナイ川、パンケイワナイ川 (台風影響により、調査範囲を縮小)
(過年度) 平成 11～13 年度	サクラマス幼魚調査	額平川本流～豊糠地区周辺に 3 地点 宿主別川～合流点から砂防ダムまでの区間に 2 地点 総主別川～魚止めの滝下流 1 地点 貫気別川～旭地区に 2 地点、支流ニタツナイ川 1 地点
(過年度) 平成 14 年度	サクラマス幼魚調査	額平川本流～貫気別第 2 頭首工から砂防ダムまでの区間に 9 地点 宿主別川～合流点から砂防ダムまでの範囲に 3 地点 総主別川～額平川合流点から魚止めの滝下流までの範囲に 2 地点 貫気別川～額平川合流点から旭第 2 頭首工までの範囲に 3 地点 支流ニタツナイ川に 1 地点 その他～主要 5 支流、計 5 地点
	サクラマス産卵床調査範囲	パンケベッカ川、パンケベッカ川 宿主別川、総主別川、パンケイワナイ川、 パンケイワナイ川、額平川砂防ダム周辺

2.これまでの調査について

調査対象範囲



過年度及び平成 15 年度調査結果	サクラマス幼魚
-------------------	---------

H11～13年調査結果（主要地点のみ実施）

サクラマス幼魚の採捕数は、調査年により変動が大きいですが、額平川本流に比べ、貫気別川、総主別川、宿主別川、パンケイワナイ川などの支流域に多い傾向がみられました。

H14、15年度調査結果

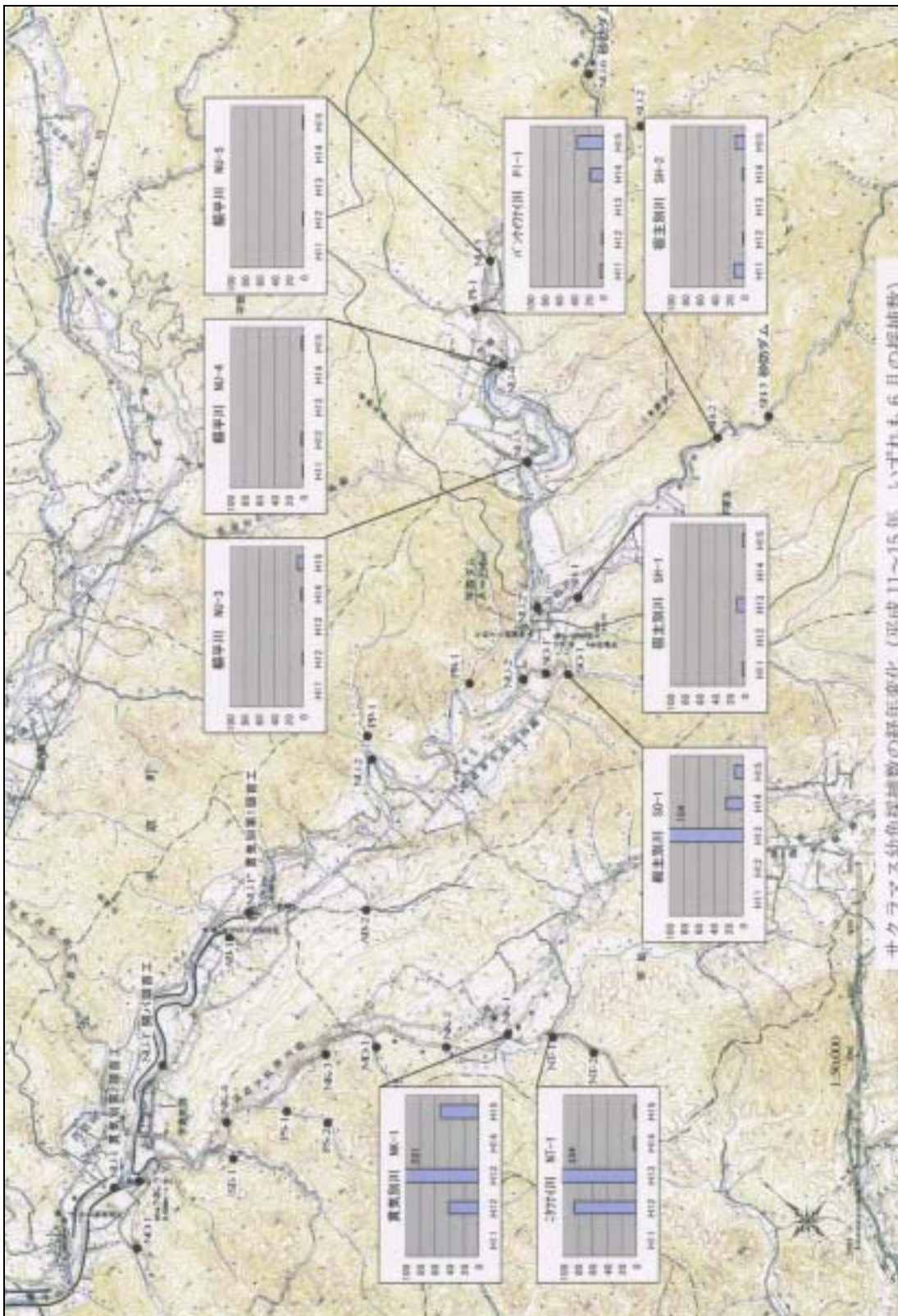
平成 14、15 年調査の結果、額平川水系の小支流にもサクラマス幼魚が分布していることが確認されました。

額平川水系 支流		平成 14 年		平成 15 年
		6 月	9 月	6 月
荷負川		-	-	
貫気別川	セタナイ川	-	-	
	ペンケセタナイ川	-	-	
	モイワ川	-	-	
	ニタツナイ川	-	-	
アブシ川		-	-	
パンケペッカソ川				
パンケペッカソ川				×
総主別川				
宿主別川				
パンケイワナイ川				
パンケイワナイ川		×		×

- : 未調査

2.これまでの調査について

サクラマス幼魚捕獲数の経年変化



過年度及び平成 15 年度調査結果 サクラマス産卵床

H14 年度調査結果

平成 14 年調査の結果、サクラマス産卵床は、総主別川で 1 床、宿主別川で 2 床、パンケイワナイ川で 1 床が確認されました。総主別川では産卵後、宿主別川では、産卵中の親魚もそれぞれ確認されました。

H15 年度調査結果

平成 15 年調査は、額平川水系は調査範囲の全域で洪水影響による濁りが残っており、目視による調査では、サクラマスの産卵床は確認されませんでした。

ただし、総主別川においては、電気ショッカーにより産卵後の雌個体が 1 尾採捕されました。

特記事項

過年度調査および本年度の調査結果から、額平川水系におけるサクラマス幼魚の分布は、額平川本流よりも支流域に多い傾向がみられ、小支流域にも生息が確認されました。

また、総主別川、宿主別川、パンケイワナイ川ではサクラマスの産卵床も確認されたことから、額平川水系のサクラマスにとっては、支流域の重要性が示唆されました。

サクラマス産卵床確認地点（H14 年 9 月～10 月調査）

